

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		11/14-11/21	11/21-11/28
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.044
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.017
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.017
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.039
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.021
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.015
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.029
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.037

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		11/14-11/21	11/21-11/28
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.014
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出

検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第98回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
平成30年11月14日～11月28日の間の大気浮遊じん中の放射能濃度は、セシウム137が平均0.02mBq/m³(セシウム134は観測されず)と非常に少なく飛散する放射能による健康影響の心配することはありません。復興のために、もう一度、放射線の生体影響に対して正しい理解を深めましょう。